

## ■ 基準価額・純資産総額の設定来推移



※1 分配金再投資ベースは分配金(課税前)を再投資したものと計算しており、分配金があった場合は実際の基準価額とは異なります。

また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに値は異なります。

※2 ベンチマークの設定来推移は、設定日を10,000として指数化したものです。

※3 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ■ 設定来の運用実績

	基準価額 (分配金再投資)		ベンチマーク (MSCI KOKUSA I 指数 (当社円換算ベース))		差異 ①-② (%)
	(円)	①騰落率(%)	(ポイント)	②騰落率(%)	
当月末	22,828	-	236,366	-	-
過去1ヵ月	22,879	-0.22	235,306	0.45	-0.67
過去3ヵ月	20,726	10.14	208,911	13.14	-3.00
過去6ヵ月	23,990	-4.84	251,420	-5.99	1.15
過去1年	21,740	5.01	220,689	7.10	-2.10
過去3年	19,379	17.80	188,074	25.68	-7.88
設定日来	10,000	128.28	129,486	82.54	45.74

※1 基準価額騰落率(分配金再投資)は、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金(課税前)を再投資した場合の騰落率です。また、実際のファンドにおいては、課税の条件によってお客様ごとに騰落率は異なります。

※2 基準価額騰落率は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## ■ 運用資産構成比率

ファンド	比率(%)
外国株式	96.9
短期資産等	3.1
合計	100.0

※1 比率はベビーファンドの実質組入比率(純資産総額比)です。

※2 短期資産等には、コール、CD、CP、現先、未収金、未払金等が含まれます。

## ■ 分配実績

決算年月日	分配金 (課税前) (円)
2018/09/18	350
2017/09/19	360
2016/09/16	110
2015/09/16	310
2014/09/16	250
2013/09/17	210
設定来合計	2,210

※ 1万口当たりの実績です。

## ■ 基準価額と純資産総額

	当月末	前月末	前月末比
基準価額 (円)	19,773	19,817	-44
純資産総額 (百万円)	481	485	-4

※ 月中に分配があった場合の基準日の基準価額は、分配金込みです。

	基準価額 (円)	日付
設定来高値	21,277	2018年1月24日
設定来安値	5,224	2009年3月9日

※1 基準価額は信託報酬等控除後で算出されます。

※2 設定来高値及び設定来安値は分配落ち後の基準価額で、該当した日付が複数日ある場合には、その初日を表示しております。

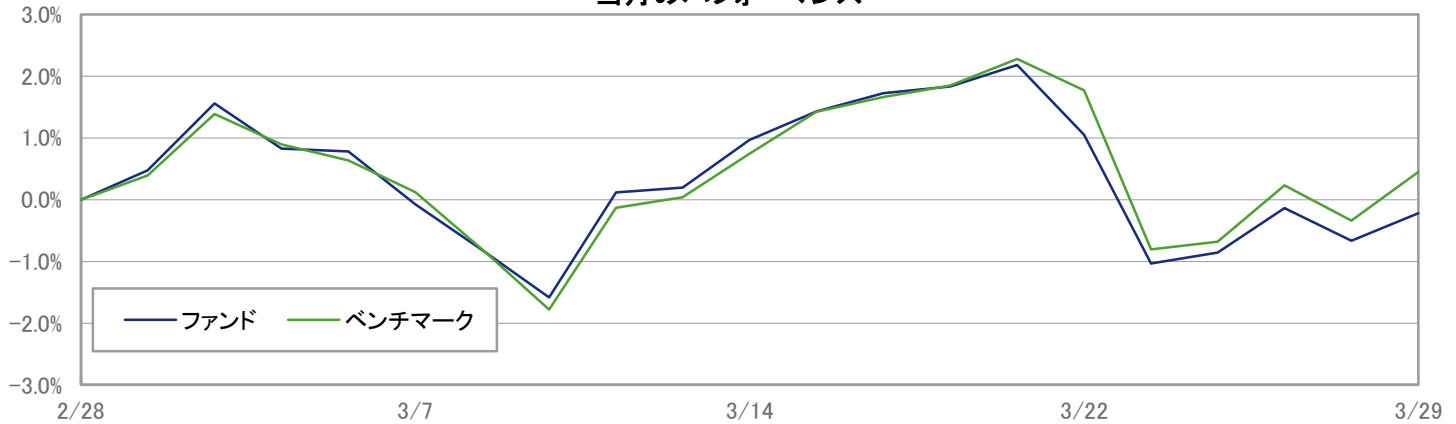
## ■ 運用概況

当月末の基準価額は、19,773円(前月比-44円)となりました。  
また、税引き前分配金を再投資した場合の月間騰落率は-0.22%となり、ベンチマークの月間騰落率は+0.45%となりました。

## &lt;運用担当者のコメント&gt;

## ■ 3月の市場動向と運用状況

当月のパフォーマンス



※ 上記のグラフは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## (市場動向)

2019年3月のグローバル株式は続伸しました。欧州において、英国議会在メイ首相の欧州連合離脱案を三度に亘り否決し、欧州連合離脱に対する先行き不透明感が増しました。一方、米中貿易問題については、トランプ大統領と習近平国家主席の首脳会談こそ延期されたものの、米中閣僚級貿易協議が進展したことから、両国が最終的には合意に至るとの楽観的見方が強まりました。金融政策では、欧州中央銀行(ECB)のハト派的姿勢が市場を驚かせました。同中銀は、利上げ時期の先送りを示唆すると共に、ユーロ圏の成長率の下方修正と追加の流動性供給策の導入を発表しました。米連邦準備制度理事会(FRB)も同じくハト派色を強め、政策金利は据え置いたものの、年内の利上げはないとの見通しを示しました。さらに、ニュージーランド準備銀行も他の主要国中銀と足並みを揃え、世界経済への懸念を背景に、市場が予想したよりもはるかにハト派的な声明を発表しました。ベンチマークの月末終値は、前月比+0.45%(円ベース)の236,365.97ポイントとなりました。

## (運用状況)

当ファンドのリターンは、金融、資本財・サービス等の業種配分効果がプラスに寄与した一方、ヘルスケア、情報技術等の銘柄選択効果がマイナスに寄与した結果、ベンチマークに対する相対パフォーマンスは-0.67%となりました。

## 【業種配分効果】

金融、資本財・サービス等がプラス寄与し、業種配分効果は、プラス寄与しました。

主なセクターのオーバーウェイト/アンダーウェイトは以下のとおりです。

- ・主なオーバーウェイトセクター…ヘルスケア、コミュニケーション・サービス、公益など
- ・主なアンダーウェイトセクター…金融、資本財・サービス、一般消費財・サービスなど

## 【銘柄選択効果】

素材、コミュニケーション・サービス等の銘柄がプラスに寄与した一方、ヘルスケア、情報技術等の銘柄がマイナスに寄与し、銘柄選択効果はマイナスに寄与しました。主な銘柄は以下のとおりです。

## 素材(+)

Barrick Gold - カナダの金・銅採掘会社。同社の買収提案を拒否した米国の鉱山会社Newmont miningと世界最大規模のネバダ州の金鉱山においてジョイント・ベンチャーを行うことを発表し、株価が上昇しました。

## ヘルスケア(-)

Biogen - 米国のバイオ医薬品会社。最終段階にあったアルツハイマー病治療薬の臨床試験中止の発表を受けた失望売りが続き、株価が急落しました。

## 情報技術(-)

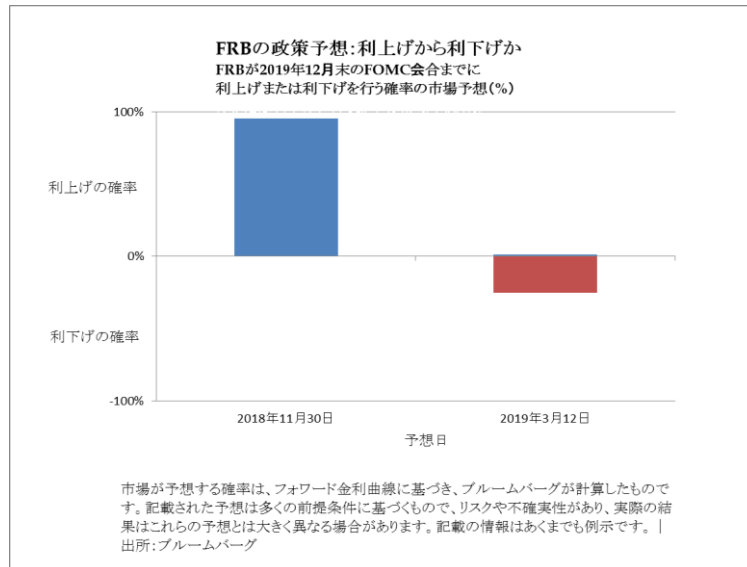
Teradata - ビッグデータ分析、管理などの製品および関連サービスを提供するITサービス会社。年初来、堅調に推移していた株価は世界経済の減速懸念の高まりを受けて調整しました。

※運用担当者のコメントは3月末時点のもので、また、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

## ■ 今後の市場見通しと運用方針

### 市場見通し



### 【グローバル金融市場】

世界経済は2019年を通じて減速すると考えているものの、制限の少ない政策に支えられ、年初来のリスク市場は好調なスタートを切っています。先進国では、循環的なインフレに関する景気先行指標の多くが軟調に転じており、インフレ率が先進国の中央銀行の目標を上回ることにはないと予想しています。こうした環境下、各国中央銀行はハト派姿勢をとっており、市場はもはや2019年のFRBの利上げを織り込んでおらず、欧州中央銀行は利上げを早くも2020年まで先送りしています。ファンダメンタルズ、政策、バリュエーションを総合的に判断すると、市場は今や緩和政策を完全に織り込んでおり、ファンダメンタルズが変化しなければ、市場が現在の水準から更に上昇するのは難しいと見えています。こうした見方から、投資家は経済成長が鈍化するなかで、よりディフェンシブなポジションをとるべきだと考えています。

米国経済は引き続き他の先進国を上回るペースで成長するものの、財政刺激効果が薄れるなかで減速すると予想しています。米国の消費者は健全な状態を維持していますが、消費ペースは鈍化すると考えています。設備投資は大型の刺激策による拡大期待を満たす可能性は低いと思われませんが、今後数四半期にわたり引き続き成長を押し上げる可能性があります。米国政府は中国政府と関税引き上げの可能性を大きく低下させるような通商合意に達するものの、次に欧州に狙いを定め、引き続き企業の不透明感を生み出すと考えています。米国経済について相対的に強気の見通しですが、米国は世界経済の成長鈍化による影響を免れるものではなく、米国株式は数年にわたり大幅にアウトパフォームしてきたことに注意が必要です。

欧州の経済成長は引き続き予想を下回っており、一部の景気先行指標は底入れの兆しを示しているものの、全体として今後数四半期に更なる低迷を示唆しています。欧州連合離脱を始めとする政治情勢は、企業と市場の心理に影響を与える可能性が高いものの、大規模な財政支出が減速をある程度和らげるか、景気を上向きに転じさせる可能性が期待されます。バリュエーションは引き続き割安であると見えています。

政策(FRBの政策と通商政策)の変更は重要で、投資家心理および市場を急速に転換させる可能性があるとして注視しています。FRBが市場のハト派期待を押し戻すか、米国が欧州を貿易制限の対象にする場合、今後数四半期にわたり、市場はボラティリティの上昇に見舞われる可能性があります。逆に、FRBが利下げを行うか、資産縮小政策を予想より早く停止する場合、または米国政府が強硬な通商戦術を和らげる場合、リスク資産は予想以上に良好なパフォーマンスを収める可能性があります。

基本シナリオではないものの、経済が上振れした場合は、保守的な見通しに対するリスクとなる可能性があります。中国経済が再加速する可能性、米国経済がFRBの緩和政策に応じて上向き可能性、欧州経済が底入れの初期の兆しから拡大する可能性があります。

### 運用方針

ファンダメンタルズ調査と定量分析を組み合わせたプロセスにより、質が高くバリュエーションの魅力的な銘柄を重視した銘柄選択に注力します。ポートフォリオはフル・インベストメントを維持し、市場のタイミングを取ることはしません。

※市場見通しは3月末時点のものです。また将来の市況環境の変動正確性等を保証するものではありません。

運用担当者のコメントは、受益者向けに投資信託の運用状況を開示するため、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(以下、ウエリントン社)から提供された情報を元に、農林中金全共連アセットマネジメントが作成したものです。ウエリントン社からの情報は、海外市場の月末を基準として提供されており、ファンドの評価基準日とは一日異なります。また、上記コメントは、将来の市況環境の変動、正確性等を保証するものではありません。

## <マザーファンドの運用状況>

### ■ 地域別・国別組入比率

地域	国名	ファンド(%)
北米	アメリカ	68.7
	カナダ	3.4
	小計	72.2
欧州	イギリス	6.8
	イタリア	0.2
	オランダ	6.7
	フランス	1.4
	ドイツ	1.7
	スイス	3.5
	スペイン	-
	ノルウェー	0.1
	スウェーデン	0.2
	フィンランド	-
	ベルギー	2.4
	アイルランド	-
	デンマーク	0.2
	ポルトガル	-
	オーストリア	-
	ギリシャ	-
	小計	23.1
その他の地域	オーストラリア	0.4
	シンガポール	-
	香港	0.7
	ニュージーランド	0.1
	イスラエル	-
小計	1.2	
株式合計		96.5
その他		3.5
合計		100.0

※ 比率は純資産総額対比です。

### ■ 業種別組入比率

業種	ファンド(%)
ヘルスケア	25.5
コミュニケーション・サービス	18.6
情報技術	13.0
公益事業	10.9
金融	8.5
生活必需品	6.5
一般消費財・サービス	4.2
素材	4.2
エネルギー	4.1
資本財・サービス	3.2
不動産	1.3
合計	100.0

※ 比率は外国株式現物対比です。

### ■ 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	国名	通貨	業種	組入比率(%)
1	COMCAST CORP-CL A	アメリカ	USDドル	コミュニケーション・サービス	3.7
2	BARRICK GOLD CORP	カナダ	USDドル	素材	3.6
3	NOVARTIS AG-REG	スイス	スイスフラン	ヘルスケア	3.6
4	BT GROUP PLC	イギリス	英ポンド	コミュニケーション・サービス	3.6
5	VERIZON COMMUNICATIONS INC	アメリカ	USDドル	コミュニケーション・サービス	3.5
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	USDドル	コミュニケーション・サービス	3.5
7	KONINKLIJKE KPN NV	オランダ	ユーロ	コミュニケーション・サービス	3.5
8	ELI LILLY & CO	アメリカ	USDドル	ヘルスケア	3.2
9	EXELON CORP	アメリカ	USDドル	公益事業	3.2
10	UNIVERSAL HEALTH SERVICES-B	アメリカ	USDドル	ヘルスケア	3.2

※注1 国名は主要上場国です。

※注2 比率は外国株式現物対比です。

組入銘柄総数:

96銘柄

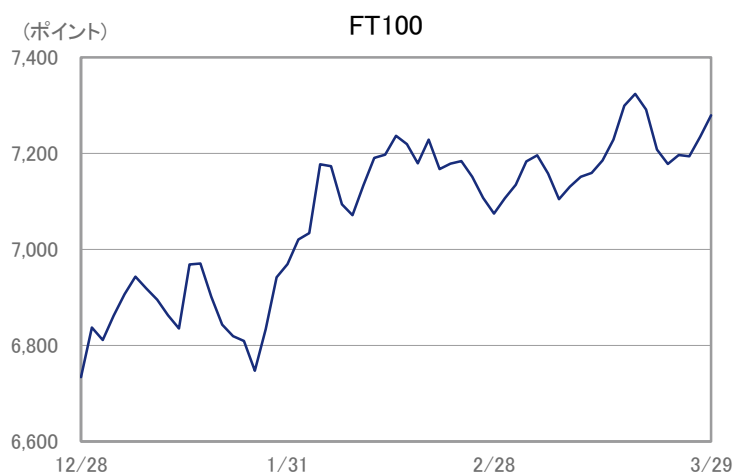
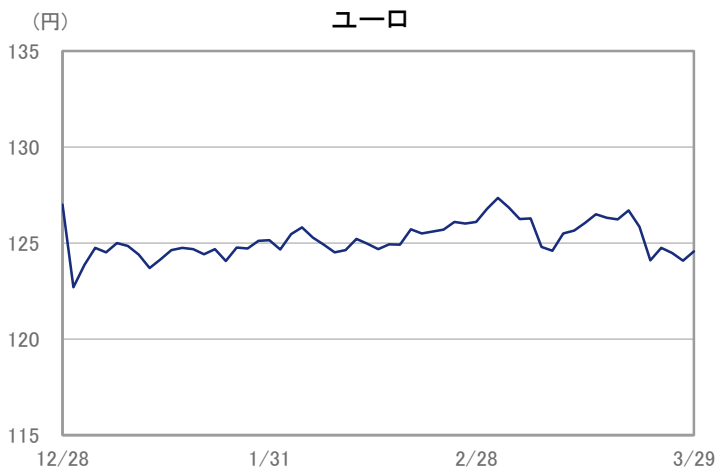
■ 最終ページの「主なリスクと手数料」および「留意事項」を必ずお読み下さい。

## <参考>市場動向(マーケット指標の推移)

### 為替相場



### 株式市場



当ファンドは、株式などの値動きを生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。従って元金が保証されるものではありません。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくことになります。当資料は当社が信頼できると判断したデータにより作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。投資信託は貯金(預金)保険制度の対象ではありません。当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

## 商品の特色

- 当ファンドは、JA海外株式マザーファンドを主要投資対象とし、マザーファンドを通じて、日本を除く世界先進各国の株式に投資を行います。
- マザーファンドの運用にあたっては、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
- 当社が円ベースに換算したMSCI KOKUSAI・インデックスをベンチマークとし、ファンダメンタルズ分析と計量分析を併用した手法により銘柄選択を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
- 株式の組入比率は原則として高位に保ちます。また、外貨建資産については、原則として対円為替ヘッジは行いません。

## ■ お申込みメモ

- 購入 いつでもご購入いただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日にはご購入の申込みの受け付けを行いません。
- 購入単位 販売会社が定める単位
- 購入価額 購入申込日の翌営業日の基準価額
- 購入時手数料 購入申込日の翌営業日の基準価額に2.16%(税抜2.00%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託設定日 2000年12月22日
- 信託期間 無期限
- 信託報酬 純資産総額に対して年1.62%(税抜1.50%)
- 決算日 毎年9月16日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 諸経費等を控除後の利子・配当収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。分配金再投資(累積投資)専用ファンドですので、収益分配金は税金を差し引いた後、自動的に無手数料で再投資されます。
- 換金 いつでも解約請求によってご換金いただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日にはご換金の申込みの受け付けを行いません。
- 換金単位 1口単位
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.30%を乗じた額
- 換金代金の支払い 換金代金は原則として換金申込日から起算して5営業日目から支払いを行います。
- 税金
  - <個人のお客様の場合>
    - ・ 収益分配時の普通分配金については、配当所得として取り扱われ、課税されます。
    - ・ 換金時ならびに償還により交付を受ける金銭等は、譲渡所得とみなし、譲渡益に対し課税されます。
  - <法人のお客様の場合>
    - ・ 収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額に対し課税されます。

※税制が改正された場合等には、上記の内容が変更となることがあります。詳しくは、販売会社、税務署などへお問い合わせください。

ニューヨーク証券取引所の休場日またはニューヨークの銀行の休業日には、購入、換金のお申込みの受け付けを行いません。金融商品取引所や外国金融商品市場における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときには、購入、換金のお申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入、換金のお申込みを取り消す場合があります。

## ■ 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 : 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第372号  
一般社団法人 投資信託協会会員/一般社団法人 日本投資顧問業協会会員)  
信託財産の運用指図、目論見書および運用報告書の作成等を行います。
- : ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(投資顧問会社)  
当ファンドの直接の関係法人ではありませんが、委託会社よりJA海外株式マザーファンドにおける外貨建資産の運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行います。
- 受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社(再信託受託会社:日本マスタートラスト信託銀行株式会社)  
追加信託に係る振替機関への通知等、信託財産の保管・管理・計算等を行います。
- 販売会社 : 以下をご覧ください。  
ファンドの募集の取扱い・販売、目論見書・運用報告書の交付、一部解約の請求の受付、収益分配金、償還金および一部解約金の支払い等を行います。

販売会社等につきましては、以下の照会先までお問い合わせください。

■ 農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

ホームページ : <http://www.ja-asset.co.jp/>

フリーダイヤル : 0120-439-244(受付時間:営業日の午前9時~午後5時)

お申込、投資信託説明書(交付目論見書)のご提供は

## 主なリスクと手数料

下記の事項は、この投資信託(以下、「当ファンド」という。)をお申込みされる投資家の皆様にあらかじめ、ご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申し込みの際には、下記の事項および投資信託説明書(交付目論見書)の内容をよくお読みください。

### ■ 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドは、主に日本を除く世界先進各国の株式を実質的な投資対象としますので、海外株式の下落による組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動により損失を被ることがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

### ■ 当ファンドに係る手数料等について

■ 申込手数料(1口当たり)・・・申込時にご負担いただくものです。

お申込日の翌営業日の基準価額に2.16%(税抜2.00%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。

※詳しくは販売会社もしくは申込手数料を記載した書面にてご確認ください。

■ 換金(解約)手数料・・・換金時にご負担いただくものではありません。

■ 信託報酬・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年1.62%(税抜年1.50%)の率を乗じて得た額とします。

■ 信託財産留保額(1口当たり)・・・換金時にご負担いただくものです。

換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額とします。

■ 監査費用・・・保有期間中に間接的にご負担いただくものです。

ファンドの純資産総額に年0.00324%(税抜年0.003%)の率を乗じて得た額とします。

■ その他の費用(\*)

有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引、オプション取引等に要する費用、外国における資産の保管時に要する費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、受託者の立て替えた立替金の利息、資金借り入れを行った場合の借入金利

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「費用と税金」をご覧ください。

(\*)「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 留意事項

■ 当資料は、農林中金全共連アセットマネジメント株式会社(以下、「当社」といいます。)が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

■ 当資料は当社が信頼できると判断したデータ等により作成しましたが、その正確性、完全性等を保証するものではなく、また事前の通知なしに内容を変更する場合があります。市場環境等の見直しにつきましても、その確実性を保証するものではありません。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。

■ 当ファンドは、株式などの値動きの生じる証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は日々変動します。したがって、元金および収益分配が保証されるものではなく、投資元本を割り込むことがあります。また、運用の成果は運用の実績により変動します。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に負っていただくこととなります。

■ 投資信託は預貯金や保険商品とは異なり、預金(貯金)保険機構、保険契約者保護機構の保護対象ではありません。投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

■ ご購入の際は、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受取りいただき、詳細をご確認のうえ、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。

■ MSCI KOKUSAI・インデックス(当社円換算ベース)はMSCI Inc.が開発したMSCI KOKUSAI・インデックス(米ドルベース)をもとに、MSCI Inc.の許諾を得たうえで、当社が独自に円換算したものです。